



2024年5月14日

各位

会社名 株式会社 大森屋
代表者名 代表取締役社長 稲野 達郎
(コード: 2917、東証 スタンダード)
問合せ先 取締役管理本部長 河田 信光
(TEL. 06-6464-1198)

業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ

2023年11月13日に公表しました2024年9月期第2四半期(累計)連結業績予想値と本日公表の実績値に差異が生じたのでお知らせいたします。

記

1. 2024年9月期第2四半期(累計)連結業績予想値と実績値との差異

(2023年10月1日~2024年3月31日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に 帰属する 四半期純利益 | 1株当たり 四半期純利益 |
|------------------|--------------|------------|------------|--------------------------|-----------------|
| 前回予想 (A) | 百万円 7,350 | 百万円 175 | 百万円 180 | 百万円 110 | 円 銭 21. 86 |
| 実績値 (B) | 8,190 | 307 | 314 | 211 | 42. 11 |
| 増減額 (B-A) | 840 | 132 | 134 | 101 | — |
| 増減率 (%) (ご参考) | 11. 4 | 75. 7 | 74. 7 | 92. 6 | — |
| 前期実績 (2023年9月期) | 14,239 | 374 | 391 | 244 | 48. 59 |

2. 第2四半期(累計)連結業績予想値と実績値との差異の理由

業務用海苔がコンビニエンスストア等の需要増と価格改定の影響により大幅に増加し、家庭用海苔も順調に推移したことから、売上高は前回予想を上回りました。

利益は、原料海苔価格高騰による売上原価の上昇があったものの、コスト削減、経費の効率的な使用に加え、価格改定が消費者に受け入れられたことにより営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益は予想を大きく上回りました。

なお、通期の業績予想につきましては、主要原材料の原料海苔価格が記録的な不作による価格高騰の影響があった昨年より上昇しており、また、今後の価格改定による売上および利益への影響額を試算中であり、2023年11月13日に公表いたしました連結業績予想値を据え置いております。

今後、修正が必要となった場合は速やかに公表いたします。

以上